

愛知県立 常滑高等学校 PTA

学校紹介

愛知県立 一色高等学校 PTA

は、三河湾に面する西尾市一色町にあり、本年度で創立70周年を迎える伝統のある学校です。

昭和24年2月に愛知県立西尾実業高等学校一色分校（定期制課程）として開校し、現在は全日制課程生活デザイン科、普通科（2年次から情報ビジネスコースを1クラス設置）及び定期制課程普通科から構成されています。生徒の9割以上は市内の在住者で、地域に密着した学校です。

本校の特徴的な取組は、「総合的な探究の時間」を軸とした「キャリアアブランディング」と「SDGs」です。キャリアプランニングでは、自己



学校風景



焼物制作

立の旧常滑高校と、昭和50年に旧常滑高校から普通科が独立した常滑北高校が再び統合し、平成18年4月に開校しました。両校の歴史や伝統を継承しつつ、校訓「徹（てつ）」のもと、何事にも真摯な姿勢で取り組み、最後までやりぬくことのできる生徒の育成を目指して、今日に至っています。普通科と工業科（セラミックアーツ科・クリエイティブデザイン科）が併置されている高校は全国でも数少なく、普通科には国際理解コースもあり、生徒一人一人の進路希望や興味・関心に十分対応できる

よう教育課程が編成されています。本校のPTA組織は、健全育成・学習進路・広報・国際交流の4つの専門委員会で構成されています。健全育成では、陶芸教室や常滑焼まつりで陶芸作品バザーを行っています。また、10月の闊歩では、生徒と共に歩いたり、お汁粉を作つて、生徒に配膳したりしています。広報では、広報誌の年4回発行やPTA研修会、国際交流

では、オーストラリアの姉妹校であるブライトン校との受け入れ・派遣事業やラオス研修旅行の運営を行っています。その他、PTA講演会、あいさつ運動など様々な活動を行ってきました。昨年、今年とコロナ禍で中止になつたPTA活動も多くありました。新しいPTA活動を模索しながら、今後も常滑高校の発展と生徒の健全な成長を願い活動していくたいと思っています。

『こころの電話』 教育相談

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
クローナイ 052-261-9671

高校生からの相談内容

令和2年度に寄せられた高校生からの相談は496件で、全体の約6.4%でした。

主な相談は「性の問題」や「学校生活」で高校生からの相談の約36.9%を占めます。

やはり、「学校生活」の相談には、進路のこと、友人のこと、部活のことなど多くの要素があるからだと思います。

令和2年度に寄せられた高校生の保護者からの相談は499件で、全体の約19.3%でした。

最も多い相談は「性格や行動に関する相談」で142件あり、高校生の保護者からの相談の約28.5%を占めます。この「性格や行動に関する相談」には、不登校の問題や発達障がいに関する内容も含まれています。

お知らせ

当財団では、このほかにも「不登校」と「発達障がい」をテーマに、専門家を講師に迎えて、保護者が基礎的な知識や子どもへの対応の方法を学ぶ面接相談事業を実施しています。

興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

あいち教育スポーツ 検索

一番目に多い相談は、子どもの「学校生活に関する相談」で115件です。約23.0%です。二番目が「進路・適性に関する相談」で65件・約13.0%です。多くの保護者が悩みを解消できる糸口を模索しております。



広報委員	
委員長	松下 由花(尾北)
委員	大見 龍史(豊橋商業)
伊藤 伊藤 中野	英明 隆文(常滑)
篤 篤(熱色)	田 滑(北)



「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」の応募は、11月26日(金)に締め切らせていただきました。投票が令和4年1月17日(月)からスタートしますので、詳細についてお待ちください。



新型コロナワクチンの回接種完了者が7割を超えていましたが、2年程収まっていますが、元気一杯頑張つていきました。

編集後記



学校風景



文化祭バザー

「リカレント教育」で拓く新たなライフステージ

愛知県教育委員会 生涯学習課

今までの日本人のライフステージは、学生時代に「教育」を受け、卒業後一つの「仕事」を定年まで勤め上げ、定年以降は「引退」して余暇を楽しむ形が主でした。しかし、平均寿命が伸び、働き方改革で多様な働き方が認められるようになったことで、これまでの典型的なライフステージは変化の時を迎えていました。

「人生100年時代」という言葉が聞かれるようになりました。2021年9月現在、100歳以上の方は86,510人で51年連続増加中です。今までには、多くの人が80歳前後まで生きる社会や人生を設計してきました。しかし、これからは皆が100年生きることを前提とした設計をすることが必要となります。

2018年公表の「人生100年時代構想会議中間報告」では「高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要があります、その重要な鍵を握るのが『人づくり革命』、人材への投資である。」と記されています。皆が100歳まで生きる社会を支え、充実した人生を送るために、国では「リカレント教育」の必要性を挙げています。「リカレント教育」とは、学校教育から離れて社会に出た後も、それぞれの人が必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことです。社会人になってから仕事に関する専門的な知識やスキルを学び、新しい社会との関わり方を手に入れることで、人生をさらに充実させることができます。

今年度、県のPTA指導者研修会で講師を務めていただいた、京都芸術大学教授、本間正人氏は、学校を卒業したら終わりとなる「最終学歴」ではなく、時代の変化に合わせて生涯学び続ける「最新学習歴」を更新していく時代が来ていると説いています。

本課でも、様々な「学び」を通して県民の皆様が社会の変化に対応しながら、豊かで活力のある生活ができるよう、第2期愛知県生涯学習推進計画に基づき、社会人の学び直しを推進しています。今後も、人生100年時代にふさわしい「学び」の実現に向けて、取り組んでまいります。

結びに、各校のPTAの皆様におかれましては、本課の事業への御理解・御協力をいただきますとともに、今後も子供たちや御自身、周囲の方々の「学び」に積極的に関わっていただきますよう、お願い申し上げます。



生涯学習課HP